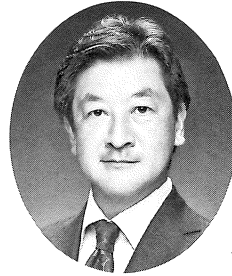




出版クラブ会報 No.603



巣ごもり生活は

本と向き合うチャンス

日本出版クラブ会長

野間省伸

(のま・よしのぶ)

あけましておめでとうござい... 外出も、人と会う事も憚られるなか、日本出版クラブの活動も大幅な変更を余儀なくされております。そんな重苦しい雰囲気の中、一筋の光明が射したのは、オンラインセミナーが高い評価を受けたことでした。

りとは同作の映画化に当たり、字幕翻訳を担当された吉川美奈子さんです。原作の文芸翻訳家と字幕翻訳家の「翻訳対決」は意外と実施されたことがない好企画。緊張感にあふれ、見どころ満載のイベントとなり、日本国内の参加はもとより、ドイツ・イタリア・フランス・アメリカ・アルゼンチンなど海外からのアクセスもあり140名を超える参加者で大盛況となりました。

います。毎年恒例、「出版関係名刺交換会」は2020年1月8日に開催されました(今年は感染症防止のため中止)。参加者は、日本書籍出版協会・相賀昌宏理事長(当時)、日本雑誌協会・鹿谷史明理事長(当時)、日本出版取次協会・近藤敏貴会長(当時)、日本書店商業組合連合会・矢幡秀治会長、そして日本出版クラブ会長である私、野間省伸。約450名の方々にご参加いただき、2020年の幕が華やかに切って落とされました。

この後、新型コロナウイルス感染拡大の勢いが増し、5月8日の「第59回 全出版人大会」も中止となり、更に10月2日の「出版平和堂 第52回 出版功労者顕彰会」も中止となりました。出版クラブが主催する大きなイベントが連続して中止となることは前例のない事で、残念でなりません。ただし、10月16日には新顕彰者4名の方々の記録板設置が無事に済みまし。その際には出版クラブ職員とともに大坪嘉春出版平和堂委員長と筑紫恒男副委員長のお二方に現地まで足を運んでいただいたとの報告を受けています。大坪さん、筑紫さんには感謝申し上げます。

た。参加者たちからは「遠隔地からでも気軽に参加できる」、「パソコンのモニター画面が、とても見やすかった」、「講師が身近に感じられた」など、概ね好意的な評価をいただきました。... 本年も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。(講談社社長)

- ▽2021年 新年名刺交換会団体代表ご挨拶... 野間 省伸・小野寺 優・堀内 丸恵・平林 彰・矢幡 秀治... 六十七 八十八

